

ベビー&amp;チャイルドシート

## クルリラ プライト

Cururila Prite

## 取扱説明書／保証書

〈お願い〉

〈重要〉ご使用前にお客様情報を登録してください。

弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一カ月以内に必ず登録をお願い致します。

弊社ホームページ <https://www.aprica.jp/>

- ・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
- ・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- ・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますので、あしからずご了承ください。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル

ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814  
 携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155  
 受付時間：AM10:00～PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)

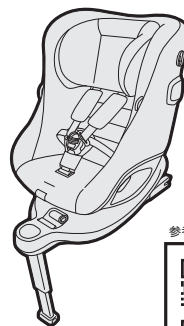
本製品は、身長40cmから105cmまでのお子さま用です。車の取扱説明書に i-Size適合やISOFIX対応の表記がある座席で使用可能です。但し、ISOFIX対応の表記があっても全ての車に取り付けられるものではありません。取り付け前には必ず車種適合表をご確認ください。

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、お読みになった後は、**本書を大切に保管してください。**本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。**製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。**

UN ECE-R129/03適合 アイサイズ改良型幼児拘束装置

取り付け方法	お子さまの条件
後向き	身長:40cm~105cm
前向き	身長:76cmかつ月齢15カ月以上~105cm

※体重18kgを超えるお子さまにはご使用になれません。



参考 取扱説明動画



ご使用前に〈P2〉

取り付ける前に〈P17〉

車への取り付け〈P26〉

お子さまの乗せかた〈P36〉

お手入れ・その他〈P42〉

保証書〈P50〉

## ご使用前に

チャイルドシートについて	2
保護者の方へのアドバイス	2
本書の表示について	2
各部のなまえ	3
お子さまの条件	7
座席の条件	9
ご使用上の注意	13

## 取り付ける前に

リクライニングのしかた	17
シート部の回転のしかた	19
パッドの使いかた	21
フレックスシェードの使いかた	23

## 車への取り付け

取り付け準備	26
取り付けかた	28
取り付け後の確認／日常点検	33
車からの取り外しかた	34

## お子さまの乗せかた

肩ハーネスの位置の目安	36
肩ハーネスの位置調節のしかた	37
お子さまの乗せかた	38
お子さまを乗せた後の確認	41

## お手入れ・その他

シートカバーの取り外しかた	42
クッション材の取り外しかた	44
お手入れ／保管／廃棄のしかた	45
困ったときには	46
保証について	48
アフターサービスについての連絡先	49

## 保証書

保証書	50
-----	----

# ご使用前に

## チャイルドシートについて




- ・チャイルドシートは自動車の座席に固定して使用し、自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減しますが必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
- ・日本国内及び、UN ECE規則を批准している国での使用は可能です。保証については日本国内においてのみ有効です。
- ・本書に説明されている方法以外で使用しないでください。衝突などの際に十分な性能を発揮することが出来ないおそれがあります。

### 〈中古品のご使用について〉

- ・前の使用者の使用履歴が分からない場合や、使用状態が不明な製品をご使用になることはできません。特に事故歴の不明な場合はご使用になれません。
- ・クラック(ひび割れ)や大きなキズ、留め金部のゆるみなどがある場合は、ご使用になれません。事故などにより強い衝撃が加わった可能性があります。


## 本書の表示について

「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。


表示	表示の内容
 <b>危険</b>	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。

## 保護者の方へのアドバイス

- ・お子さまをはじめて車に乗せる時から、チャイルドシートの使用を習慣にしてください。
- ・長距離を走る場合は、1時間程度を目安に休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげてください。
- ・授乳後30分位は吐き戻しやすいためご注意ください。
- ・開梱後は本書をよくお読みのうえ各動作確認をおこなってください。また、安心してご使用いただくため、取り付け後は定期的に各動作確認をおこなってください。本書通りに操作できない場合、弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)までお問合せください。



製品の取扱いにおける禁止行為です。



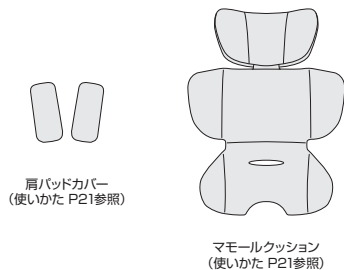
製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。

# 各部のなまえ

梱包内容 ・ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

## 〈パッド/カバー〉

(P21~P22参照)・箱から取り出した状態では、本体にセットされています。



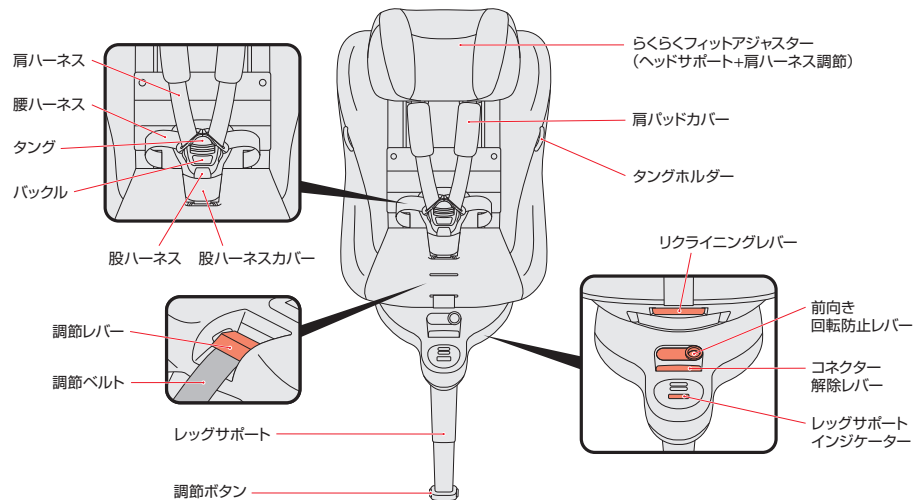
## 〈付属品〉



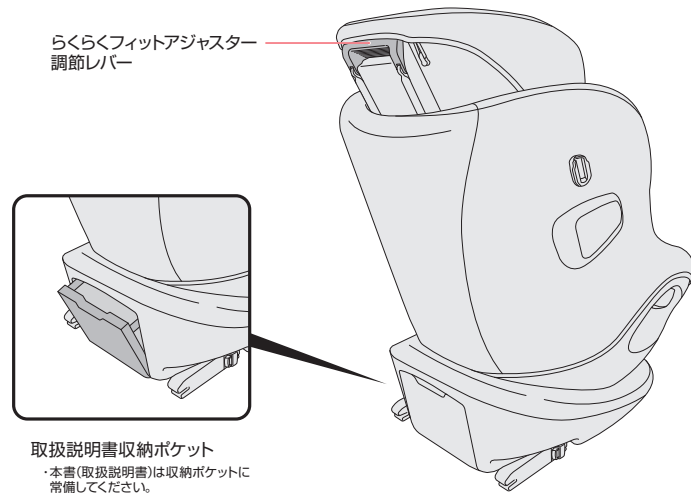
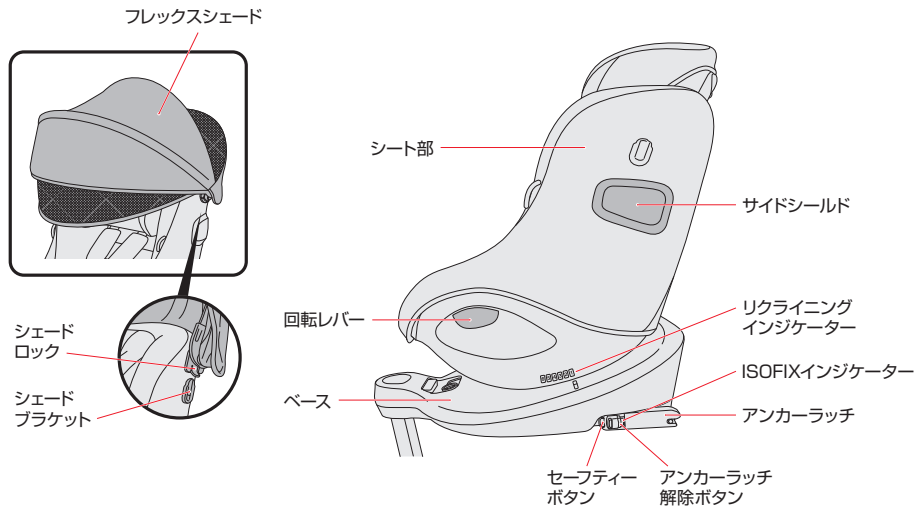
### 〈重要〉 ご使用前に、お客様情報登録のお願い

弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。  
安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一か月以内に必ず登録をお願い致します。

弊社ホームページ <https://www.aprica.jp/>



# 各部のなまえ



# お子さまの条件

- ・下記の条件を満たさないお子さまには**絶対使用しないでください**。
- ・参考年齢と参考体重は目安です。お子さまの身長に合わせてご使用ください。



・条件を満たしていないお子さまには使用しない。**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**

## 〈お子さまの身長に合わせて、3通りの使いかたがあります。〉

### 身長 40cm～105cmまで

※18kgを超えるお子さまにはご使用になれません。

参考年齢: 新生児※～4歳頃まで  
参考体重: 2.5kg～18kg以下

※ここでいう新生児とは、出生時に体重2.5kg以上かつ胎週数37週以上の乳児を指します。この条件を満たさないお子さまへのご使用については医師にご相談ください。

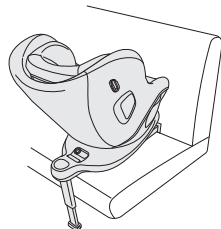
〈後向き〉 身長60cm以下の場合 参考体重: 7kg未満

進行方向に対して後向き

〈パッド類〉 (P21参照)

- ・マモールクッション必要
- ・肩パッドカバー取り外し可能

- ・全てのリクライニング角度が使用可能



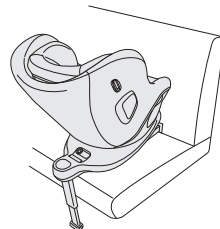
〈後向き〉 身長60cmを超える場合 参考体重: 7kg～18kg以下

進行方向に対して後向き

〈パッド類〉 (P21参照)

- ・マモールクッション使用不可
- ・肩パッドカバー取り外し可能

- ・全てのリクライニング角度が使用可能



### 身長76cmかつ月齢15カ月以上～105cmまで

※18kgを超えるお子さまにはご使用になれません。

参考年齢: 15カ月以上～4歳頃まで  
参考体重: 9kg～18kg以下

〈前向き〉

進行方向に対して前向き

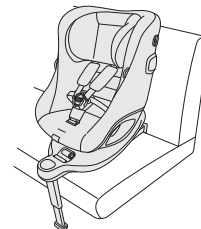
〈パッド類〉 (P21参照)

- ・マモールクッション使用不可
- ・肩パッドカバー取り外し可能

- ・全てのリクライニング角度が使用可能



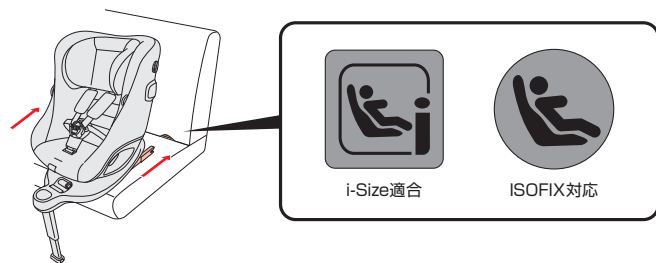
・お子さまの身長が76cmかつ月齢が15カ月以上になるまで前向きで使用しない。**思わぬ重傷を負う可能性があります。**



# 座席の条件

・本製品は次の条件を満たす座席に取り付けできます。

**車の取扱説明書に i-Size適合、ISOFIX対応 の表記や、下記のマークがある座席。**



※本製品はアイサイズ改良型幼児拘束装置です。

アイサイズ改良型幼児拘束装置については、車の取扱説明書をお読みください。

※ISOFIX対応の表記やマークがある座席でも、本製品を取り付けられない場合があります。

車の取扱説明書に右表の固定具が記載されていれば概ね取り付け可能ですが、ご使用の際には、

- ・必ず車種適合表と車の取扱説明書で、取り付け可能かをご確認ください。
- ・車種適合表につきましては、アプリカホームページ[<https://www.aprica.jp/>]で最新版がご覧になれます。

取り付けの状態	固定具
後向き	ISO/R2, ISO/R3
前向き	ISO/F2X, ISO/F3

最新車種適合表



## 取り付け可能な座席

取り付け方法	座席条件	使用
前向き・後向き 共通	前座席：エアバッグを装備していない	取り付け条件が満たされれば取り付けできます
	前座席：エアバッグを装備している	使用できません
	前座席：エアバッグのON/OFFが可能でON(作動状態)にしている ※	使用できません
	車の進行方向に対し横向きの座席	使用できません
	車の進行方向に対し後向きの座席	使用できません
	後部座席の両側	取り付け条件が満たされれば取り付けできます
	後部座席の真ん中	取り付け条件が満たされれば取り付けできます

※エアバッグのON/OFFについては、車の取扱説明書、または、自動車メーカーにお問い合わせください。

- ・サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席には取り付けできますが、車の取扱説明書にチャイルドシートの使用に関する記載がある場合は指示に従ってください。
- ・お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをお奨めします。

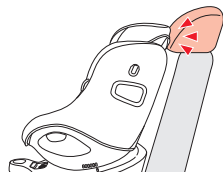
⊘ このマークのある座席には取り付けしないでください。



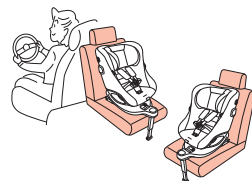
# 座席の条件

## 〈取り付けできない座席〉・座席の位置及び装備

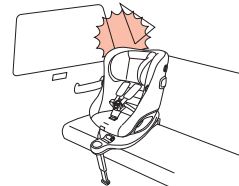
・ヘッドレストとチャイルドシートが干渉する座席。



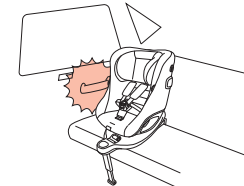
・進行方向に対して横向き及び後ろ向きの座席。



・ピラーなどに接触して、正しく取り付けできない座席。



・座面が車のドアトリムなどに干渉し、ドアを閉めることができない座席。



## 〈取り付けできない座席〉・座席の形状

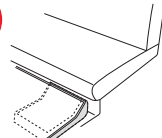
・極端に奥行きが短い座席。(補助席や幼児専用座席)  
・極端に奥行きが長い座席。(ベースが車の背もたれに全く接しない座席)



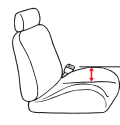
・レッグサポートが車の床に全く接しない座席。  
・レッグサポートを一番短くしても座面に極端な隙間ができる座席。



・車のフロアに、ヒューズボックス、収納型シート、コンソールボックス、スペアタイヤの収納スペースなどがある座席。



・座面のフラット面が極端に狭く正しく取り付けができない座席。  
(極端なバケットシート、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席、市販座席に取り替えられた車など)



# ご使用上の注意



危険

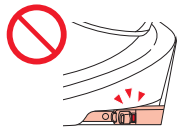
誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・身長40cm未満及び105cmを超えるお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。  
・体重18kgを超えるお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

・フロントエアバッグを装備した座席に本製品を後向きに取り付けない。エアバッグの作動により、お子さまに強い力が加わり危険です。



・ISOFIXインジケーターが赤色の状態で使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートが確実に固定できない座席で使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・回転ロックが掛かっていない状態で使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



危険

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・レッグサポートを収納した状態で使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・レッグサポートが車のフロアから離れた状態で使用しない。及び物を挟んで使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートのバックルを解除した状態で使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・横向きで使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートを本書及び、本体表示ラベルの説明以外の方法で取り付けない。製品の機能が充分発揮されだけでなく危険です。





## ご使用上の注意



警告

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・お子さまをチャイルドシートに乗せたまま一人で車内に残さない。
- ・お子さまを一人で車内に残さない。
- ・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。
- ・腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。
- ・同時に二人以上で使用しない。
- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。  
(例:片側スライドドアのドア側座席など)
- ・チャイルドシートの底面の一部分にクッション、座布団などを敷かない。
- ・肩ハーネス、腰ハーネスや股ハーネスに損傷、亀裂、焦げなどがある場合は使用しない。
- ・肩ハーネスは、お子さまの肩以外の位置で使用しない。
- ・車の走行中にハーネス調節、リクライニングや回転などの操作を行わない。
- ・チャイルドシートを使用中、お子さまにバックルの解除ボタンを触らせない。
- ・お子さまの耳の上端部が本体の上端部より上に出る場合は使用しない。
- ・バックルに水やジュース、食べこぼし、ゴミ、泥水などが入りタングが差し込みにくいなどの異常を感じた場合は本製品を使用しない。
- ・可動部に水やジュース、食べこぼし、ゴミ、泥水などが入り操作ができない場合は使用しない。

- ・事故や落下などによる強い衝撃が加わった後は使用しない。
- ・本製品のネジやナット類、ハーネスを取り外したり、分解、改造、及び指定部品以外の交換はしない。
- ・シートカバーやクッション材を外した状態や、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。
- ・弊社指定アクセサリ以外のものを使用しない。
- ・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
- ・保護者、介添者などが椅子など腰掛けとして使用しない。
- ・パッド類を含む本製品の部品が破損した状態で使用しない。
- ・固定していないチャイルドシートを車内に置かない。また、衝突の際に傷害の原因になるおそれのある荷物などは車内に置かない。
- ・取り外したパッド類、フレックスシェードはトランクルームやカーゴルームに保管し、座席などの乗車空間に放置しない。
- ・梱包袋はお子さまがかぶらないよう放置しない。
- ・極端な厚着や防寒具の上から肩ハーネス、腰ハーネス、股ハーネスを装着しない。**ハーネスのゆるみの原因となるおそれがあります。**寒さ対策はハーネスを装着した上から行ってください。



注意

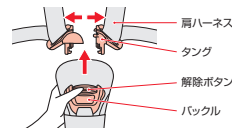
誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- ・チャイルドシートを直射日光にさらさない。  
**本体や金属部分などが熱くなり、やけどのおそれがあります。**
- ・可動式シートまたは、車のドアにチャイルドシートの剛性部分やプラスチック部分を挟まない。
- ・チャイルドシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
- ・火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
- ・通常の椅子として使用しない。
- ・お子さまが乗っていない場合でも、チャイルドシートのタングはバックルから外しておかない。
- ・お子さまにチャイルドシートの取り付けや、操作をさせない。
- ・チャイルドシートに重量物を載せない。
- ・砂やほこりの多い場所で使用するとベースなど可動部分に詰まり故障の原因になります。
- ・本体に貼り付けられたシールは、はがさない。
- ・屋外に放置し、雨などにさらさない。
- ・チャイルドシートを周囲のものにぶつけない。
- ・特に肌の弱いお子さまは靴下や手袋などで肌を保護してください。生地との摩擦による擦り傷や爪が引っかかる原因となるおそれがあります。

緊急時のお子さまの降ろしかた

緊急の時はあわてずに…

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②肩ハーネスをお子さまから外す。
- ③お子さまをチャイルドシートから降ろす。
- ④安全な場所へ避難する。



バックルからタングが抜けない時は…

- チャイルドシートの肩ハーネスをシートベルトカッター(市販品)などで切り、お子さまを降ろす。

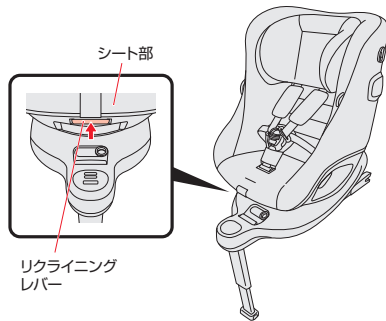


# リクライニングのしかた

「後向き」、「前向き」使用時、お子さまの身長にかかわらず、6段階に角度を調節することができます。

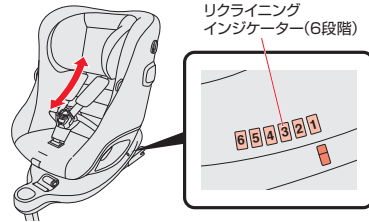
製品を箱から取り出した際には、6段目にセットされています。必要に応じて角度を調節してください。

**1** リクライニングレバーを引き上げながら



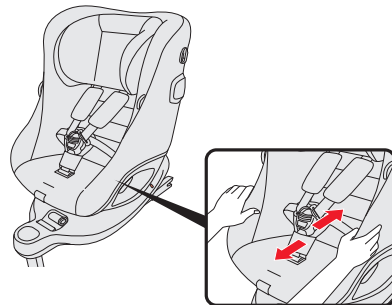
- アドバイス**
- リクライニングレバーが引きにくいときは、シート部を軽く前後に動かすと引きやすくなります。
  - お子さまを乗せている場合はお子さまを降ろしてください。

**2** シート部のリクライニング角度を調節する。(6段階)



- 警告**
- リクライニング操作時は、お子さまの手や指などを近づけないこと。手や指などが挟まれ、けがをするおそれがあります。
  - 水やジュース、食べこぼし、泥水、ゴミなどが入りリクライニングができない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

**3** リクライニングレバーから手を離してシート部を前後にゆすり、ロックされていることを確認する。



- アドバイス**
- リクライニングレバーから手を離さないでロックされません。

- 警告**
- 操作後、リクライニングレバーが戻り、シート部がロックされていること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
  - 車の走行中にリクライニング操作を行わない。思わぬ事故につながるおそれがあります。

# シート部の回転のしかた

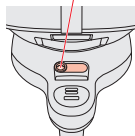
**1** 前向き回転防止レバーを左右に動かし、お子さまの月齢に合った位置に合わせる。

〈新生児～15カ月まで〉

〈15カ月以上～4歳頃まで〉



前向き回転防止レバー



15カ月未満のお子さまの前向きでの使用を防止するためのレバーです。

●0-15Mの位置に合わせて、後向きの状態から前向きにすることができなくなります。



・お子さまの身長が76cmかつ月齢が15カ月以上になるまで前向きで使用しない。  
思わぬ重傷を負う可能性があります。

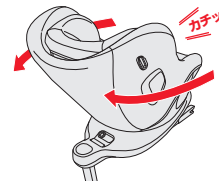
**2** 左右いずれかの回転レバーを引き上げながら、シート部を回転させる。



・水やジュース、食べこぼし、泥水、ゴミなどが入り回転できない場合は使用しない。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

**3** ①動き始めたら回転レバーから手を離し、シート部が「後向き」または「前向き」になると、「カチッ」と音がしてロックされます。  
②シート部を左右にゆすり、回転がロックされていることを確認する。

〈後向き〉



〈前向き〉



シート部回転時に本製品が車のドアトリムや座席の背もたれに干渉する場合は、リクライニング角度を調節してください。(P17参照)

・回転操作時は、お子さまの手、指などを近づけないこと。手や指などが挟まれ、けがをすることがあります。

・回転後、回転レバーが戻り、シート部が固定されていること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。


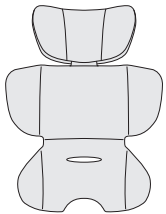
・車の走行中に回転操作を行わない。思わぬ事故につながるおそれがあります。



・シート部回転時に幌が車の内装に干渉する場合がありますので、ご注意ください。

# パッドの使いかた

・お子さまの発育状況により下記の表を参考に使用してください。

	肩パッドカバー	マモールクッション
<p>○:必ず取り付けてください。</p> <p>○:取り外し可能です。</p> <p>⊘:必ず取り外してください。</p>		
身長が40cm~60cm以下	○	○
身長が60cmを超えて~105cmまで	○	⊘



**警告**

衝突などの際に充分性能を発揮できません。  
 ・パッド類は本製品の専用品であるため、他の製品には使用しない。  
 ・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。  
 ・取り外したパッド類はトランクルームやカーゴルームに保管し、座席などの乗車空間に放置しない。



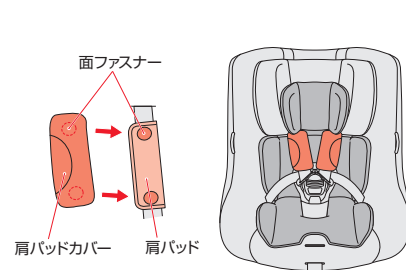
**注意**

・パッド類を強く折り曲げたり、刃物などで切ったりしないでください。  
 ・パッド類を本書に記載されている以外の目的で使用しないでください。

**1**

## 〈肩パッドカバーの取り付け・取り外し〉

肩パッドカバーと肩パッドそれぞれの面ファスナー(2カ所)を合わせて取り付け。取り付け後は肩パッドカバーを引っ張り確実に取り付けられていることを確認する。  
 取り外しは逆の手順で行ってください。



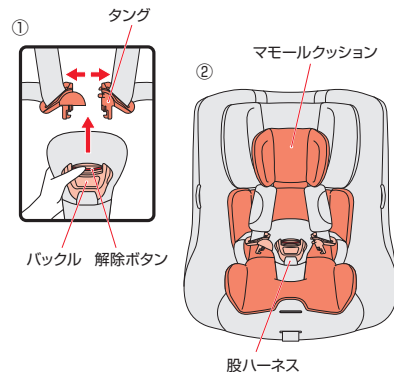
**注意**

・肩パッドは外せません。

**2**

## 〈マモールクッションの取り付け・取り外し〉

①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。  
 ②股ハーネスをマモールクッションの股ハーネス通し穴に通し、取り付け、取り外しをする。



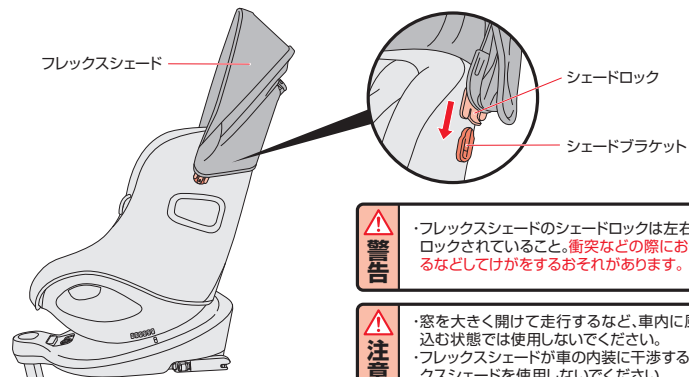
取り付ける前に

# フレックスシェードの使いかた

付属品としてフレックスシェード(日除け)が同梱されています。日差しなどを防ぎたい時に本製品に取り付けてお使いください。

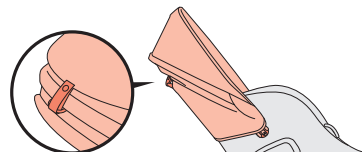
## 1 <取り付け>

- ①フレックスシェードのシェードロックを本体のシェードブラケットに差し込む。(左右)
- ②上方向に引き上げ抜けないことを確認する。

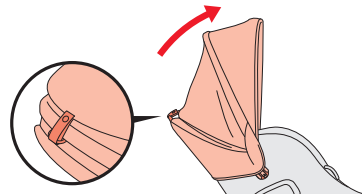


## 2 <後向き時の使いかた>

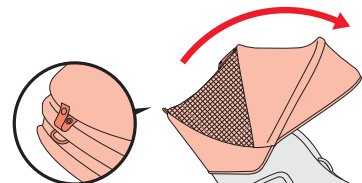
<1段目使用時>・ホックがとまっていることを確認する。



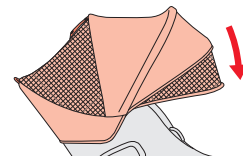
<2段目使用時>・ホックがとまった状態で、矢印の方向へ開く。



<3段目使用時>・ホックを外し、矢印の方向へ開く。



<エキストラシェード(メッシュ)使用時>  
・エキストラシェードを内側から矢印の方向に開く。

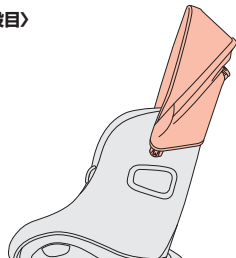


## フレックスシェードの使いかた

### 3 <前向き時の使いかた>

- ・ホックをとめ、1段目で固定されていることを確認する。

#### <1段目>



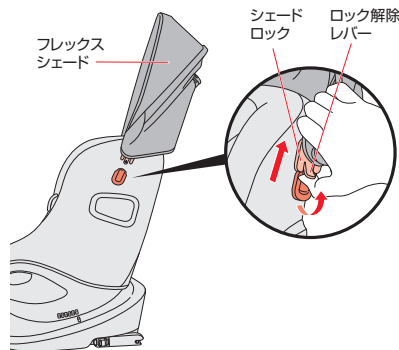
#### 警告

- ・前向き時はフレックスシェードの1段目以外で使用しない。衝突などの際にお子さまがけがをするおそれがあります。
- ・お子さまの頭がフレックスシェードに接触する場合はフレックスシェードを使用しない。衝突などの際にお子さまがけがをするおそれがあります。



### 4 <取り外し>

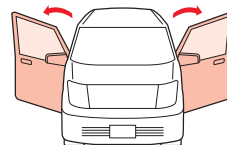
- ・シェードロックのロック解除レバーを引き上げ、フレックスシェードを取り外す。(左右)



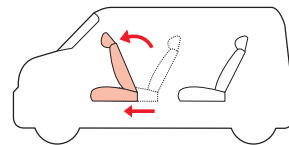
## 取り付け準備

### 1 <取り付け作業のスペース確保>

- ①取り付け作業は、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。



- ②作業前に前座席を倒したり、スライドさせることで車内での作業スペースを確保できます。



- お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの座席に取り付けることをお奨めします。
- 車の座席形状により、取り付け出来ない場合があります。詳しくはP9～P12を参照してください。

#### 危険

- ・フロントエアバッグを装備した座席に本製品を後向きに取り付けない。エアバッグの作動により、お子さまに強い力が加わり危険です。
- ・チャイルドシートが確実に固定出来ない座席では使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。
- ・レッグサポートを収納した状態で使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。

#### 警告

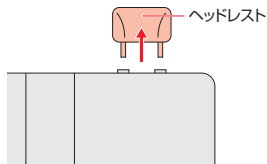
- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取りつけない。

## 取り付け準備

2

### 〈取り付ける座席の準備〉

- ①ヘッドレストが取り外せる場合は取り外す。
- ②取り外したヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。



警告

車のヘッドレストがチャイルドシートに干渉した状態で取り付けない。チャイルドシートが確実に固定できなくなるおそれがあり、衝突などの際に充分性能を発揮できません。

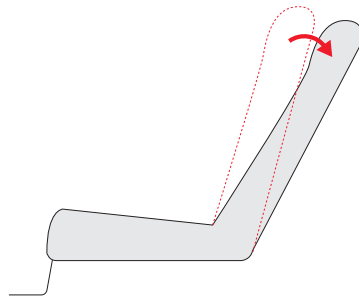


取り外したヘッドレストを座席などの乗車空間に放置しない。衝突などの際に重傷を負うおそれがあります。

- ③背もたれがリクライニングする場合は少し後方へ倒す。



車の背もたれをリクライニングした場合、ISOFIXチャイルドシート取付金具(バー)が見えなくなる場合があります。そのときはISOFIXチャイルドシート取付金具(バー)が見えるところまで車の背もたれを起こしてください。およそ100°が目安です。

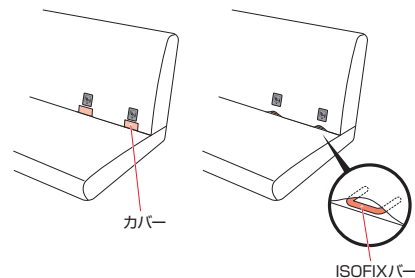


## 取り付けかた

- ・本製品は、後向き、前向きの2通りの使用方法がありますが、車への取り付けかたは共通です。
- ・本書では左後部座席での取り付けかたを説明しています。

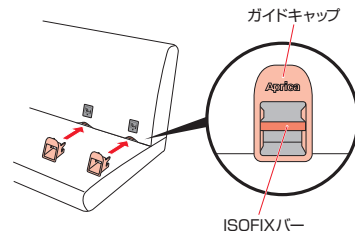
1

ISOFIXバーのカバーが装備されている場合は、カバーを外す。(左右)



2

ISOFIXバーが車のシートにかくれて見えにくい場合は、ガイドキャップをISOFIXバーに差し込み取り付ける。(左右)

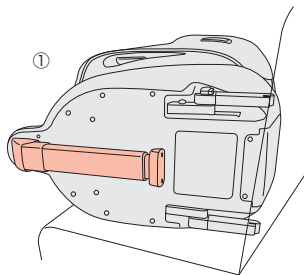


車によってはガイドキャップが取り付けられない場合があります。その場合は、ガイドキャップを使わずにチャイルドシートを取り付けてください。

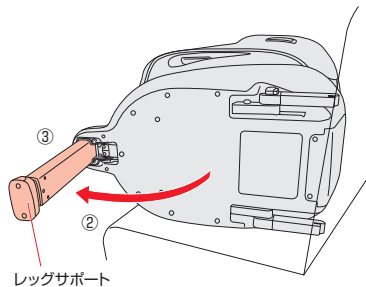
# 取り付けかた

## 3 <レッグサポートを起こす>

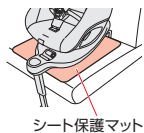
①作業するスペースを十分に確保し、本体を横に寝かせる。



②レッグサポートを起こす。  
③レッグサポートが固定されていることを確認する。



チャイルドシートを取り付ける座席が革仕様の場合は、別売りの「シート保護マット」のご使用を推奨します。直接取り付けたら、革をいためるおそれがあります。なお、「シート保護マット」は革仕様以外の座席にもご使用いただけます。



シート保護マット

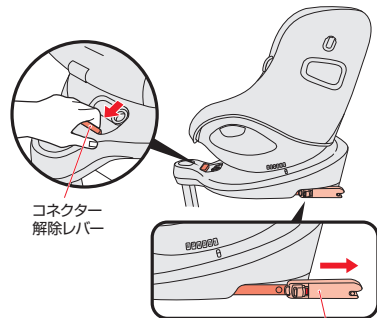


警告

・レッグサポート操作時は、手、指などを挟まないように注意する。**思わぬ重傷を負う可能性があります。**  
・本製品を移動する際には、レッグサポートが自重で自動的に伸びるため注意する。さらにレッグサポートで手、指などはさまないように注意する。**思わぬ重傷を負う可能性があります。**

## 4

コネクター解除レバーを手前に引きながら、アンカーラッチを最後まで後方に引き出す。



コネクター解除レバー

アンカーラッチ



警告

・取り付け時にお子さまをそばに近づけない。**思わぬ重傷を負う可能性があります。**

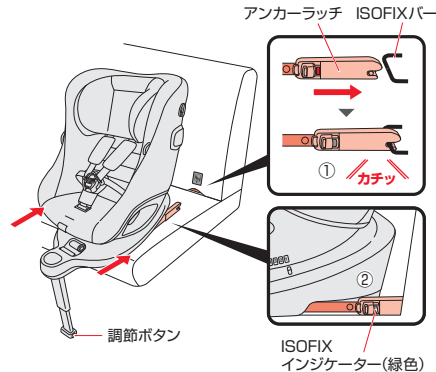
## 5

①左右のISOFIXバーに「カチッ」と音がするまで、ベース(アンカーラッチ)を左右同時に押し込む。  
②左右のISOFIXインジケータが「赤色」から「緑色」に変わったことを確認する。



アドバイス

ベースが押し込みにくい場合は、  
・調節ボタンを押して、レッグサポートを縮めてください。  
・ベース前部を持ち上げ、ベースの角度を調節しながら押し込んでください。

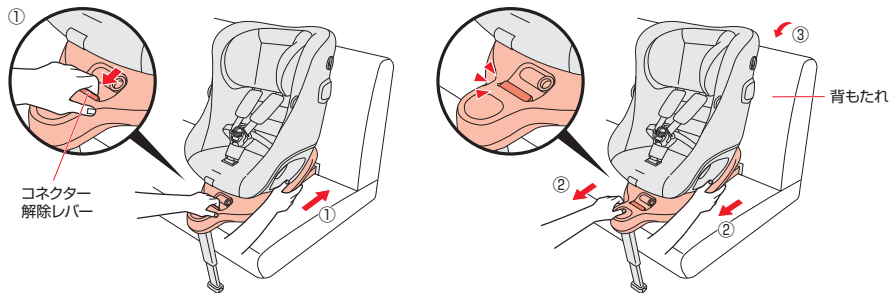




# 取り付けかた

6

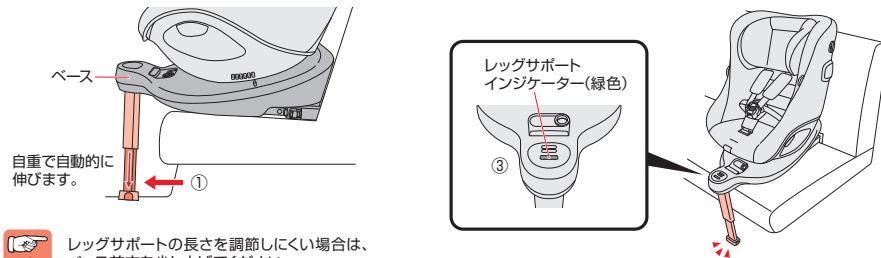
- ①コネクタ解除レバーを手前に引きながら車の座席の背もたれに接するまでベースを左右同時に押しつける。
- ②コネクタ解除レバーから指を放し、解除レバーが復帰していることを確認後にベースを手前に引き、動かないことを確認する。
- ③取り付ける座席の準備(P27参照)で背もたれを倒した場合は、背もたれをベースに接するまで起こす。



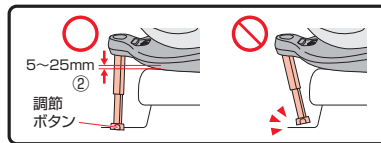
**アドバイス** チャイルドシートと座席の背もたれに隙間が生じる場合、背もたれがリクライニングできる座席については、隙間が小さくなるようにリクライニング角度を調節してください。

7

- ①レッグサポートを前方に引き出す。
- ②ベースの前方と車のシートの上に5~25mmのすき間が出るようにレッグサポートの長さを調節する。
  - ・レッグサポートは自重で自動的に伸びます。
  - ・縮める場合は調節ボタンを押し長さを調節する。
- ③レッグサポートがしっかり固定され、インジケーターが「緑色」であることを確認する。



**アドバイス** レッグサポートの長さを調節しにくい場合は、ベース前方を少し上げてください。



**危険**

- ・レッグサポートインジケーターが「赤色」の状態で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・レッグサポートが車のフロアから離れていないこと。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

## 取り付け後の確認／日常点検

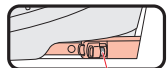
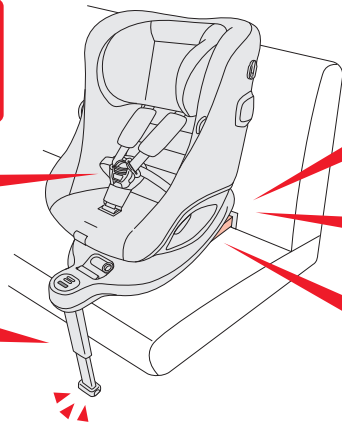
- ・取り付け後やお子さまを乗せる前には毎回チャイルドシートがしっかり固定されていることを確認してください。  
しっかり固定されていないと、衝突などの際に、充分性能を発揮できません。

・全て確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度P28～P32の手順で取り付け直してください。

「バックルのインジケータが「緑色」になっている。

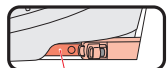


レッグサポートインジケータ  
レッグサポートが車のフロアにしっかり接していて、レッグサポートインジケータが「緑色」になっている。



ISOFIXインジケータ  
ISOFIXインジケータが「緑色」になっている。(左右)

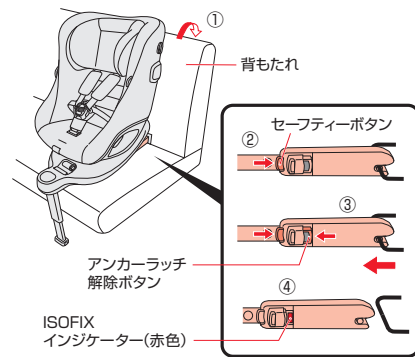
座席の背もたれにベースが接している。



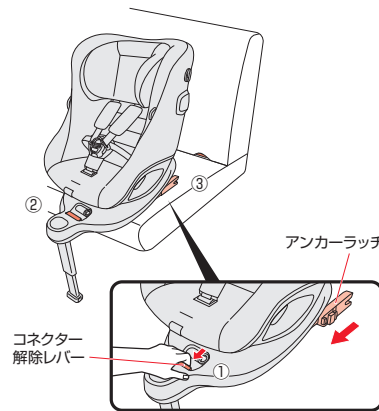
コネクタ  
左右のコネクタが同じ長さになっている。

## 車からの取り外しかた

- ①車の背もたれがリクライニングする場合は少し後方へ倒す。
- ②左右のセーフティーボタンを押しながら、
- ③アンカーラッチ解除ボタンを左右同時に押し込み、ベースをまっすぐ手前に引き、取り外す。
- ④左右のISOFIXインジケータが「緑色」から「赤色」になったことを確認する。



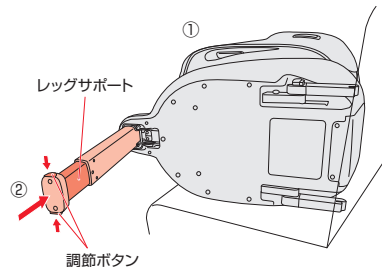
- ②コネクタ解除レバーを手前に引きながら左右のアンカーラッチを収納する。
- ③コネクタ解除レバーから手を離す。
- ④コネクタ解除レバーが復帰し、アンカーラッチが動かないことを確認する。



## 車からの取り外しかた

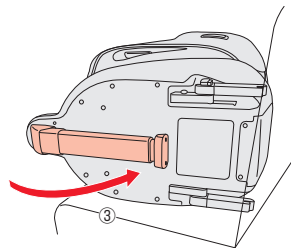
### 3 <レッグサポートを収納する>

- ①作業するスペースを十分に確保し、本体を横に寝かせる。
- ②調節ボタンを押し、レッグサポートの長さを短くする。



・レッグサポート操作時は、手、指などを挟まないように注意する。**思わぬ重傷を負う可能性があります。**  
・本製品を移動する際には、レッグサポートが自重で自動的に伸びるため注意する。さらにレッグサポートで手、指などを挟まないように注意する。**思わぬ重傷を負う可能性があります。**

- ③レッグサポートを折りたたむ。



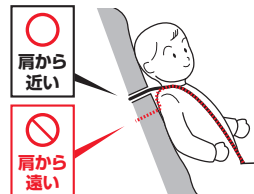
・チャイルドシートを周囲のものにぶつけないように注意してください。

## 肩ハーネスの位置の目安

- ・各ポジションにより、使用する肩ハーネスの位置が異なります。
- ・肩ハーネス位置は、お子さまの肩の高さに合わせて調節してください。

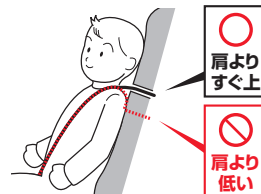
### 後向き使用時

・肩に近い位置に肩ハーネスの高さを調節する。



### 前向き使用時

・肩よりすぐ上の位置に肩ハーネスの高さを調節する。

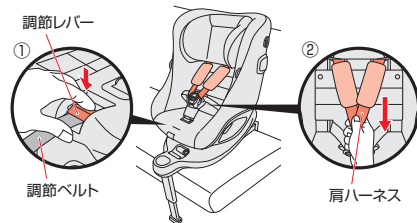


# 肩ハーネスの位置調節のしかた

・肩ハーネスの位置（らくらくフィットアジャスターの高さ）は、6段階に調節できます。  
 ※製品を箱から取り出した際には、1番下にセットされています。

## 1 肩ハーネスをゆるめる

- 調節レバーを押す。  
 ・調節レバーを押すときに調節ベルトを手で押さえつけないでください。
- 調節レバーを押したまま左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。  
 ・肩パッドより下の肩ハーネスを引いてください。

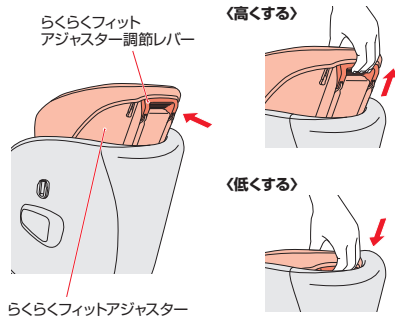


肩ハーネスをゆるめる際は、肩パッドを持って引っ張らないでください。重く感じる際は、片方ずつ引っ張ってください。



## 2 肩ハーネスの高さを調節する

- らくらくフィットアジャスター調節レバーを押し込み、高さを調節する。(6段階)
- 適切な位置(P36参照)でレバーから指を離し、らくらくフィットアジャスターを上下に動かして固定されていることを確認する。

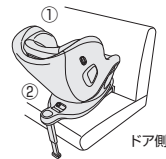


# お子さまの乗せかた

## 1 後向き・前向きに回転させる

- お子さまの身長に合わせて、シート部を後向き、または前向きに回転させる。
- シート部がロックされていることを確認する。

〈後向き使用〉



〈前向き使用〉



後向き使用の場合、前向きでお子さまを乗せたあと(2~3の手順実施後)に後向きに回転させることができます。



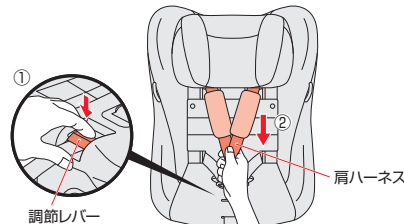
前向きでお子さまを乗せたあとに後向きに回転させる場合は、お子さまの手、指、足が可動部に挟まれたり周囲にぶつからないよう注意する。



シート部がロックされていない状態で乗せ降ろしをすると、シート部が急に回転し思わぬ重傷を負う可能性があります。

## 2 肩ハーネスをゆるめる

- 調節レバーを押す。  
 ・調節レバーを押すときに調節ベルトを手で押さえつけないでください。
- 調節レバーを押したまま左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。  
 ・肩パッドより下の肩ハーネスを引いてください。



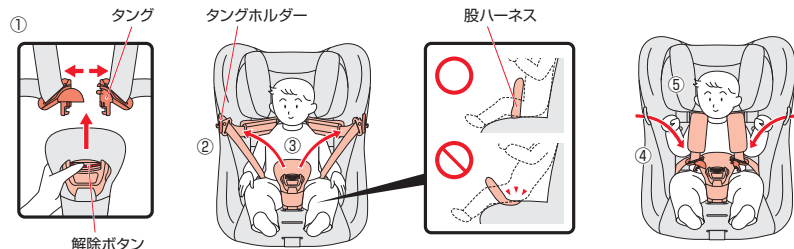
後向き使用時に、お子さまの靴で座席の背もたれが汚れてしまう場合は、別売りのシートバックカバーをご使用ください。



# お子さまの乗せかた

## 3 <タングを外し、お子さまを乗せる>

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②肩ハーネスがねじれないように、左右のタングをタングホルダーにとめる。
- ③お子さまを座席に深く座らせ、お子さまのお尻が股ハーネスに乗っていないことを確認する。



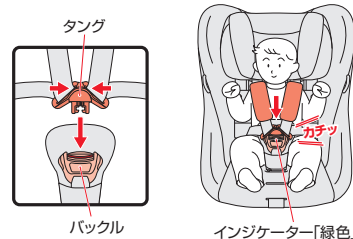
**注意** 日差しにより、本体が熱くなることがありますのでご注意ください。

**警告** お子さまの耳の上端部が本体の上端部より上に出る場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

- ④左右のタングをタングホルダーから外す。
- ⑤お子さまの肩の高さに合わせて、正しい肩ハーネスの位置に調節する。(P36~P37参照)

## 4 <タングを差し込む>

- 左右のタングを組み合わせ、「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込み、バックルのインジケーターが「緑色」に変わっていることを確認する。

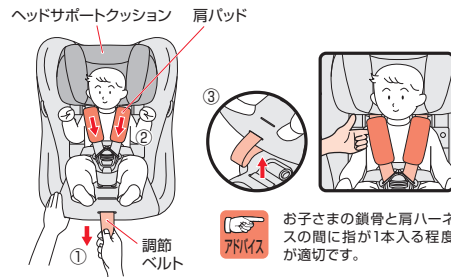


**危険** タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がせず、インジケーターが「緑色」にならない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

**警告** タングをバックルに差し込む時は、指や手を挟まないように注意する。けがをするおそれがあります。バックルに水やジュース、食べこぼし、泥水、ゴミなどが入りタングが差し込みにくいなどの異常を感じた場合は本製品を使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

## 5 <肩ハーネスを短く調節する>

- ①調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。
- ②左右の肩パッドをヘッドサポートクッションの手前に引き出し、お子さまの首に当たる位置に調節する。
- ③調節ベルトの先端のホックをシート裏のホックにとめる。



**警告** 肩ハーネスが肩にかかっていない状態で使用しない。肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

**アドバイス** お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。

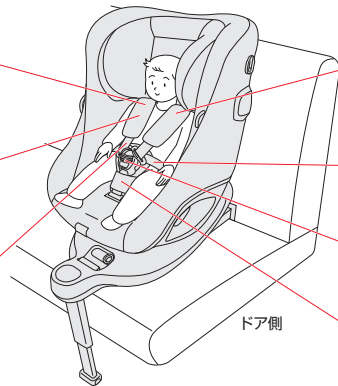
## お子さまを乗せた後の確認 （お子さまを乗せた後に必ず確認する。）

・正しくできていない場合は、もう一度P38～P40の手順をやり直してください。

肩パッドがお子さまの首に当たる位置に調節されていること。

肩ハーネスがお子さまの肩にかかっていること。

肩ハーネス、腰ハーネスにねじれやゆるみがないこと。



後向きの場合：肩に近い肩ハーネス位置に調節していること。  
前向きの場合：肩よりすぐ上の肩ハーネス位置に調節していること。

お子さまの骨盤を拘束するように、腰ハーネスを低く下げていること。

タングをバックルに「カチッ」と音がするまで差し込み、インジケーターが「緑色」になっていること。

お子さまを座席に深く座らせ、お子さまのお尻が股ハーネスに乗っていないこと。

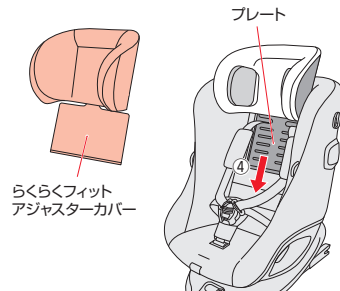
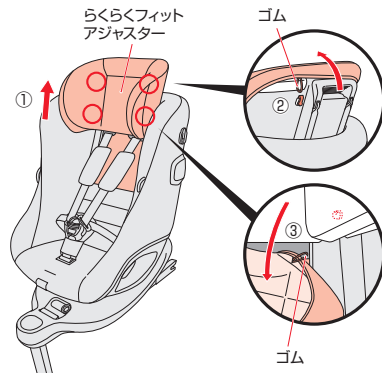
## シートカバーの取り外しかた

※シートカバーの取り付けは逆の手順で行なってください。

### 1 <らくらくフィットアジャスターカバーを取り外す>

- ①らくらくフィットアジャスターを最上段まで上げる。
- ②らくらくフィットアジャスター背面のゴム(2カ所)を外す。
- ③らくらくフィットアジャスター下部のゴム(2カ所)を外す。

- ④らくらくフィットアジャスターカバーをプレートから引き抜く。



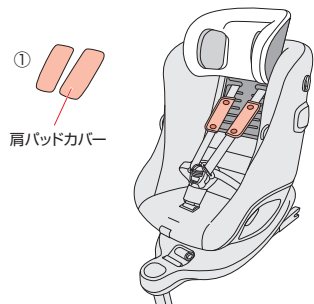
警告

- ・シートカバーを取り外した状態で使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。
- ・ハーネスを取り外さない。思わぬ事故につながるおそれがあります。

## シートカバーの取り外しかた

### 2 <肩パッドカバーを取り外す>

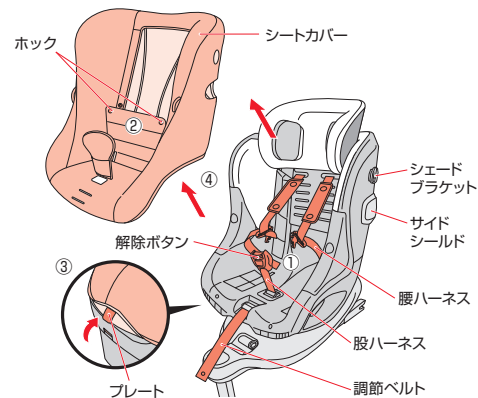
- ① 肩パッドの面ファスナーを外し、肩パッドカバーを取り外す。(P22参照)



・肩パッドは取り外しできません。

### 3 <シートカバーを取り外す>

- ① バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ② 背もたれ部のホックを外す。(2カ所)
- ③ シートカバー前側のプレートを外す。(2カ所)
- ④ シートカバーをシェードブラケット、サイドシールド、腰ハーネス、股ハーネス、調節ベルトから抜き取る。

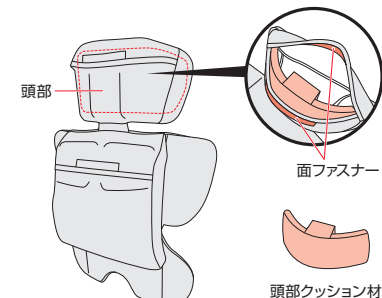


## クッション材の取り外しかた

※クッション材の取り付けは逆の手順で行なってください。

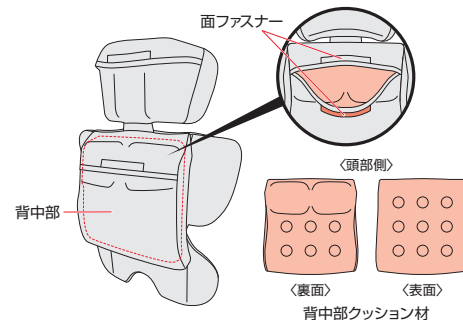
### <マモールクッション>

- ① 頭部の面ファスナーを外しクッション材を抜き取る。



・クッション材を取り外した状態で使用しない。  
衝突の際に充分性能が発揮できません。

- ② 背中部の面ファスナーを外しクッション材を抜き取る。  
※背中部クッション材を取り付ける際は、表面がお子さまの背中側にくるように取り付けてください。



・クッション材を洗わないでください。

## お手入れ／保管／廃棄のしかた

### 〈シートカバー、らくらくフィットアジャスターカバー、肩パッドカバー、マモールクッションの洗濯〉

※マモールクッションのクッション材(頭部と背中)を取り外してください。



※洗濯ネット使用、弱く絞る



・他のものと一緒に洗濯しないでください。色移り(移染)のおそれがあります。  
・肩パッド、フレックスシェードは洗濯できません。樹脂部分、ハーネス、パッド類のお手入れに従ってください。

### 〈樹脂部分、ハーネス、パッド類のお手入れ〉

〈樹脂部分にほこりなどが吸着した場合〉

・タオルなどで乾拭きしてください。  
・リクライニングレバーや回転レバー付近にゴミがつかまらないようにこまめに掃除機などでゴミを吸い取ってください。

〈水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合〉

・40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。  
・ハーネス、パッド類は日陰で乾燥させてください。

〈非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合〉

・40℃前後のお湯に中性洗剤を溶かし、スポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分を軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。  
・ハーネス、パッド類は日陰で乾燥させてください。



・本製品やパッド類、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しないでください。変色、変形、劣化のおそれがあります。

### 〈保管するときは〉

・本装置を湿気のないポリ袋などに入れ、直接日光に当たらない、冷暗所に保管してください。



・屋外に放置し、雨などにさらさないでください。劣化などにより、十分な性能を発揮できないおそれがあります。  
・各レバーが元の位置に戻っていることを確認してください。故障の原因になります。

### 〈廃棄するときは〉

・事故や落下などにより強い衝撃を受けた製品には、本装置に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入し再利用を防止してください。  
・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示に従い処分、廃棄してください。

## 困ったときには 〈解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。〉

### 〈ご使用前に困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
梱包箱の内容物に不足や間違いがある。	弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。(P49「アフターサービスについての連絡先」参照)
本製品をご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	本製品は、車の取扱説明書に次の表示がある座席に取り付けが可能です。 ・ i-Size 適合 ・ ISOFIX 対応 ただし、ISOFIX 対応の表記があっても全ての車両に取り付けられるものではありません。座席の条件(P9～P12参照)や車種適合表(P9参照)をご確認ください。 ・ 車種適合表につきましては、アプリカホームページ「 <a href="https://www.aprica.jp/">https://www.aprica.jp/</a> 」で最新版がご覧になれます。
車のどの座席に取り付ければ良いのか判らない。	

最新車種適合表



### 〈車への取り付けで困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
チャイルドシートを本書の通りに車の座席に取り付けてもグラグラする。	車への取り付け方法を再度ご確認の上、もう一度初めから取り付け直してください。(P26～P32「取り付け準備」、「取り付けかた」参照) 何度取り付けても固定できない場合は、チャイルドシートと車の座席がミスマッチの可能性があります。弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。(P49「アフターサービスについての連絡先」参照)
車のシートのISOFIXバーにうまく差し込むことができない。	付属のガイドキャップを使い、もう一度初めから取り付け直してください。(P28「取り付けかた」参照)
ベースの前方と車のシートの間に25mm以上のすき間ができる。	レッグサポートの長さをもう一度調節してください。(P32「取り付けかた」参照) 取り付け時に車の背もたれを倒した場合は、車の背もたれをベースに接するまで起こしてください。(P31「取り付けかた」参照)



## 困ったときには 〈解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。〉

### 〈お子さまの乗せかたで困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
肩ハーネスを最も引き出した状態で、お子さまに肩ハーネスを通してバックルにタンクが差し込めない。	<p>らくらくフィットアジャスターの位置を確認してください。(P37「肩ハーネスの位置調節のしかた」参照)</p> <p>車内の温度を調節し、厚手の上着は脱がせてください。</p> <p>お子さまが座席に浅く座り、お子さまのお尻が股ハーネスに乗っている場合は正しく乗せ直してください。(P39「お子さまの乗せかた」参照)</p>
肩ハーネスの左右の張りに大きな差がある。	左右の肩ハーネスのどちらかがゆるく感じる場合は、お子さまの腰の位置を中央に戻してハーネス調節ベルトを引き、肩ハーネスをしめなおしてください。
肩ハーネスのねじれがとれない。	右のQRコードから対処方法をご覧ください。



### 〈操作時に困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
シート部が回転しない。	シート部が車のドアトリムや座席の背もたれに干渉する場合は、リクライニング位置を調節してください。(P17「リクライニングのしかた」参照)
リクライニング操作ができない。	<p>シート部を軽く押しながらリクライニングレバーを手前に引き、シート部のリクライニング位置を調節してください。(P17「リクライニングのしかた」参照)</p> <p>リクライニングレバー付近にゴミなどがはさまっていないかを確認してください。</p>
アンカーラッチが解除できない。	<p>車のISOFIXバーの形状により、アンカーラッチ取り付け後も本製品がある程度左右に動きますが、ISOFIXバーの端にアンカーラッチが寄り過ぎ干渉することで解除できない場合があります。その際は本製品を中央(アンカーラッチをISOFIXバーの中央)に戻してからアンカーラッチを解除してください。</p> <p>車のISOFIXバーの位置や座席の形状により、アンカーラッチに負荷がかかり解除できない場合があります。その際は専用ベース前部を持ち上げ、専用ベースの角度を調節しながらアンカーラッチ解除ボタンを操作すると解除しやすくなります。</p>
片側のアンカーラッチが解除できない。	ベースを押し込み再度左右のアンカーラッチをISOFIXバーに取り付けたのち(P30参照)、解除できなかった側のアンカーラッチ解除ボタンを先に押しながらもう一方のアンカーラッチ解除ボタンを押し、左右同時にベースを手前に引いてください。(P34参照)

## 保証について

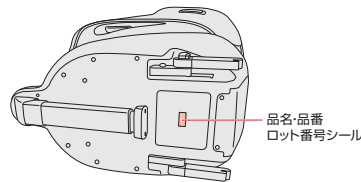
### 〈保証期間とアフターサービス〉

・アフターサービスについて  
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

・保証期間中(購入日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します  
ただし、お預かりした製品を確認した結果、弊社にて修理ができないと判断した場合は製品交換とさせていただきます  
ことがございます。

・ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。(修理箇所の保証期間は1カ月です。)  
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。  
(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。)

・お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、  
**品名・品番・ロット番号**を必ずお伝えください。



品名・品番  
ロット番号シール

### アフターサービスについての連絡先

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〈電話連絡先〉

ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL **0120-415-814**

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL **0570-004-155**

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

お買い上げ時レシート  
貼り付け位置

・お問い合わせの際に、スムーズな  
対応が行えますよう、お買い上げ  
時のレシート（領収書）を貼り付  
けてください。